

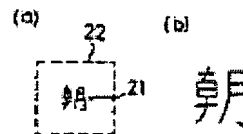
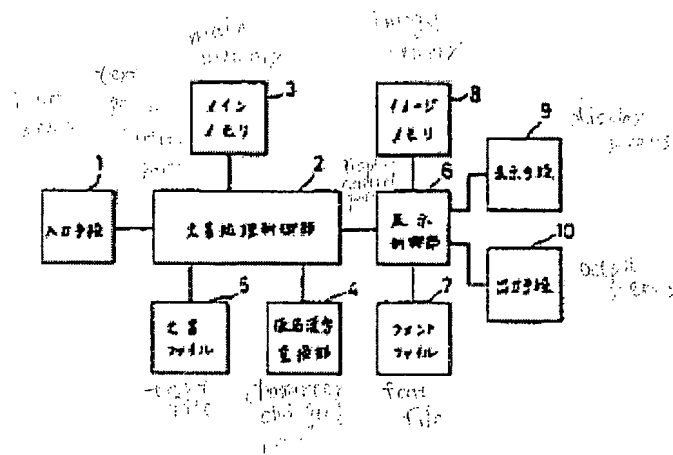
METHOD FOR DISPLAYING CHARACTER

特許公報番号 JP1230093
 公報発行日 1989-09-13
 発明者: NAKANO YOSHIYUKI
 出願人 SANYO ELECTRIC CO
 分類:
 一国際: B41J5/44; G06F3/153; G09G1/00; G09G5/26; B41J5/44;
 G06F3/153; G09G1/00; G09G5/26; (IPC1-7): B41J5/44;
 G06F3/153; G09G1/00
 一欧州:
 出願番号 JP19880056938 19880310
 優先権主張番号: JP19880056938 19880310

ここにデータエラーを報告してください

要約 JP1230093

PURPOSE: To improve display responsiveness without applying excessive storage contents to a system by displaying a character code or the like inputted by a prescribed size by a character font of a prescribed size and displaying a character code or the like inputted by a changed size by a character font of the prescribed size and a size displaying code expressing a size. **CONSTITUTION:** A character to which a size changing signal is applied when a character code signal is inputted from an input means 1 and a document is formed is displayed on a display means 9 by a frame line 22 surrounding a size display code expressing font data 21 with the prescribed size and the changed size, i.e. font data. At the end of document formation, the character displayed at its size change is displayed in the arithmetically processed state to the changed size. Consequently, input operation with high responsiveness can be executed while checking the finishing state of a document at the time of document formation. Since it is unnecessary to prepare unnecessary character fonts, excessive storage contents are not applied to the system.



⑫ 公開特許公報(A) 平1-230093

⑤Int. Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑬公開 平成1年(1989)9月13日
 G 09 G 1/00 3 1 4 8121-5C
 B 41 J 5/44 3 1 0 7810-2C
 G 06 F 3/153 D-7341-5B 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 文字表示方法

⑯特 願 昭63-56938

⑰出 願 昭63(1988)3月10日

⑱発 明 者 中 野 善 之 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

⑲出 願 人 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

⑳代 理 人 弁理士 西野 卓嗣 外1名

明 細 書

1. 発明の名称 文字提示方法

2. 特許請求の範囲

(1) 入力手段から所定サイズでまたはこの所定サイズから変更した変更サイズで文字、記号等を入力して表示手段に表示するための文字表示方法において、所定サイズで入力された文字、記号等は所定サイズの文字フォントで、また変更サイズで入力された文字、記号等は所定サイズの文字フォント及びサイズを扱うサイズ表示符号で、夫々表示するようにしたことを特徴とする文字表示方法。

3. 発明の詳細な説明

(1) 産業上の利用分野

本発明はワードプロセッサ等に用いられる文字表示方法に関する。

(2) 従来の技術

表示ディスプレイを有する文字表示装置を備えたワードプロセッサ等の文書作成装置においては、一般にキーボード等の入力手段から入力され

た文字、記号等(以下、単に文字と称す)が所定サイズのフォントでディスプレイ上に表示され、その表示内容を見ながら入力文字の訂正、追加等の編集作業を行なって文書を作成することができるようになっており、最終的なテキストはプリンタ等の印写手段にて印写される。

また、最近では入力文字のフォントのサイズを任意サイズに変更し得るようになっており、この場合、ディスプレイ上に表示されるフォントのサイズはサイズ変更されたものであるのが、出来上りの文書の状態をディスプレイにおいて把握する上で好ましい。

このために、各文字に対して種々の大きさのフォントデータを予め準備して記憶保持しておく方法と、所定サイズのフォントデータをサイズ変更が指示される毎に演算処理してサイズ変更を行う方法とが考えられる。

(3) 発明が解決しようとする課題

然し乍ら、前者のように、各文字に対して種々の大きさのフォントデータを予め準備して記憶